

ニューズレター雪氷北信越

No. 3 昭和63年10月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

お知らせ

雪氷学会50周年記念事業近づく

日本雪氷学会50周年記念事業の一環として長岡・富山地区での記念講演会の開催が近づいてきました。詳細は同封の御案内をご参照下さい。また、東京で開催される昭和63年度全国大会（10月24日～26日）期間中に50周年記念式典・祝賀会が10月25日に開催されます。詳しくは雪氷第50巻第3号をご覧ください。

報告

昭和63年度第2回理事幹事合同会議

8月19日（金）、長岡技術科学大学にて標記会合が開かれました。まず、顧問、評議員、理事、幹事について以下の方々への委嘱について承認されました。

顧問：栗田幸雄（福井県知事）、日浦晴三郎（長岡市長）、大塚久郎（新井市長）
評議員：今西正明（福井県県民生活部長）、青木 彰（長岡市企画調整部長）
高橋 實（新井市建設課長）

理事：沖津慶三（北陸電力技術研究所副所長）←正橋 満理事より交代

幹事：吉川利夫（福井県県民生活部地域振興課長）

また、新潟県克雪総合普及事業後援、Dr. R. Frederking氏講演会共催の承認や学習会の報告・予定について審議され、特に学習会についてはテーマについてもっとも会員の要望にそったものにすべきではないかとの意見がだされ、アンケートをとるなどの案が検討されました。50周年事業については経過の説明があり、募金委員として、大沼顧問、梅村・高瀬・対馬副支部長、早川幹事長、阿部理事、田村幹事が委嘱されました。なお、懸案の専門部会の活性化については次回の理事幹事会で審議されることになりました。

講演会

第1回石川地区講演会のお知らせ

「石川県地方における融雪出水と水資源」

石川県地方の気象は、一般に多湿多雨のいわゆる日本海型であり、雨量は短時間の豪雨は比較的少ないが、年降水量は極めて多く、とくに、手取

川流域は全国有数の多降水地帯（豪雪地帯ともなる）である。従って、融雪出水も多く、水量も豊かで水資源に大変恵まれていることになるが、これらの問題について考察して講演するものである。

講 師 : 高瀬 信忠 金沢大学工学部 教 授
日 時 : 昭和63年12月3日(土) 15:30~17:30
場 所 : 会館・加賀 (金沢共済会館 金沢市大手町2-32)
その他 : 終了後、同じ場所で、有志による会費制(約2,500円)により簡単な懇親会を開催しますので、併せて御出席願います。

問い合わせ先 : 地域振興研究所
水野 雅男 研究員 (0762-23-1402)
または、金沢大学土木建設工学科
高瀬 信忠 教 授 (0762-61-2101)

新潟地区講演会の報告

カナダにおける雪氷工学研究

8月19日、長岡技術科学大学にて約50名の会員の参加のもと、ロバート・フレーダーキング博士による標記講演会が開催されました。

講演は、カナダと日本における研究組織構造の違いから始まり、カナダ国内の雪氷機関やそれぞれの主要研究テーマが紹介されました。なかでも、カルガリーオリンピックで用いられたという人工雪作成技術や、氷と構造物との相互作用の研究について詳細なお話がありました。人工雪の作成が排水処理の役割を果たすという点は興味深く、会場から多くの質問がありました。また、海水と構造物との相互作用のお話では、美しい極北の自然が多数のスライドを用いて紹介され、楽しく聞くことができました。1時間半を越す長時間の講演でありましたが、飽きることなく盛会のうちに幕を閉じました。
(中尾幹事 記)

学習会

第1回石川地区学習会のお知らせ

「雪に強い街づくり」

雪国の北陸地方に住む人達にとって最も関心の深い、雪に強い街づくりについて考えます。

講 師 : 遠藤 聡 地域振興研究所主任研究員
日 時 : 昭和63年11月19日(土) 15:00~17:00

場 所 : 会館・加賀 (金沢共済会館 金沢市大手町2-32)
その他 : 終了後、同じ場所で、有志による会費制(約2,500円)により簡単な懇親会を開催しますので、併せて御出席願います。

問い合わせ先 : 地域振興研究所
水野 雅男 研究員 (0762-23-1402)
または、金沢大学工学部土木建設工学科
高瀬 信忠 教授 (0762-61-2101)

第2回新潟地区学習会のお知らせ

「除雪計画における流雪溝・消融雪溝設計の考え方」

講 師: 大 熊 孝 新潟大学工学部教授
日 時: 昭和63年11月25日(金) 13:00~14:30
場 所: 長岡技術科学大学機械建設棟 4階 機械系大学院講義室

お問い合わせ先: 長岡技術科学大学建設系 0258-46-6000
早川典生教授, 小池俊雄助教授

第1回新潟地区学習会報告

去る9月22日、新潟大学積雪地域災害研究センターにおいて、第1回新潟地区学習会が開催されました。講師の長岡技術科学大学早川典生教授から、信濃川支流魚野川における融雪流出解析に関する研究の成果と問題点が詳しく説明され、またLANDSATなどの衛星リモートセンシングの利用など最新の技術についても紹介がありました。26名の参加者からは活発な質疑応答が行われ、盛会のうちに幕を閉じました。なお、会の後、早川先生を囲んでな懇親会が開かれました。(小池幹事 記)

第2回富山地区学習会報告

9月21日富山市科学文化センターで行われた学習会には会員・非会員併せて18名の参加者がありました。講師には科学文化センター館長長井真隆氏、演題は「雪と植生」で、構造土の植生や雪崩地の植生から雪と樹形、多雪地の植物の特徴、さらには立山の緑化復元、雪国の景観作りと、スライドを交えながら行われました。その後北陸農試、富山林業試験場などテーマに関係の深い方々を中心に熱心な討論がありました。(石坂幹事 記)

説明

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、毎偶数月15日にニューズレターを発行しております。原稿は、規定の書式（できるだけワープロ原稿）で各事業日程に間に合うように毎偶数月10日までに事務局に送付され、事務局では、原稿を取りまとめ、所定の用紙に貼付け、印刷、発送をいたします。（ただし、No.3は10月10日発行）

※書式 幅16.5cm

1行: 33文字, 行数: 制限は設けないが手短に

字間: 2.5mm, 行間: 5.4mm

※なお、No.3より頁構成を綴じ易いように見開きスタイルに変更いたしました。ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡技術科学大学建設系 小池俊雄 電話0258-46-6000 内線6124 まで